南吹田地域のまちづくり基本計画

平成 21 年(2009年)3月

吹田市

南吹田地域につきましては、今後、おおさか東線の新駅を 核に、駅前交通広場や都市計画道路など、都市機能の基盤整 備を進め、本市南部の新たな拠点にふさわしいまちづくりを 推進していくエリアです。

昭和51年(1976年)に南吹田第1土地区画整理事業が 完了して以降、おおさか東線建設事業の遅れも含め、交通問題、少子高齢化、まちの安心安全面での課題など、地域を取り巻く状況は大きく変化しております。こうした状況に的確に対応し、将来を見据えた総合的、計画的なまちづくりを進めていくことが必要です。



このような認識のもと、地域の特性を踏まえた「南吹田地域のまちづくり基本計画」を 策定いたしました。本計画は、これからの南吹田地域のまちづくりを、市民参加・協働の もとで進めていくための基本方針となるものです。

さて、本格的な地方分権時代を迎えた今、地方自治体は、国・府から自立し、対等・協力の関係のもと、地域個性を最大限発揮できる魅力的な施策を展開していかねばなりません。そのためには、市民、NPO、事業者など、多様な主体によるまちづくりに取り組むことが重要であり、本市は、「情報共有、市民参画、協働」を運営原則とする自治基本条例のもと、「みんなで支えるまちづくり」をめざしております。

本計画の策定に関しましても、地域の皆様方におかれましては、平成 18 年(2006 年)度のアンケート調査へのご協力をはじめ、行政と市民との協働の場である「南吹田地域まちづくり会議」において、まちの課題や将来像について想いや意見を出していただき、さらには、「南吹田地域まちづくり構想」を取りまとめ、市に提案していただきました。本計画は、その構想に盛り込まれた皆様の想いやご意見を生かしつつ、まちの方向性とまちづくりの手法、方策について、行政の果たすべき責任と役割をわかりやすく整理し、まとめたものです。

新たな駅の誕生によって本市南部の新たな玄関口となります南吹田は、周辺地域とも連携して、市域全体の発展のために大きな役割を果たす地域です。安心安全で温かなコミュニティが育まれ、活力とにぎわいにあふれた利便性の高いまちへと発展させていくため、駅前交通広場、都市計画道路西吹田駅前線などの整備に全力を挙げて取り組むとともに、今後とも、市民との協働のまちづくりに努めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたりまして、貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様ならびに関係団体の方々に対し、心から感謝し、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

平成 21 年 (2009年) 3 月

南吹田地域のまちづくり基本計画 目 次

序章	1
(2)位置づけと目標年次2	
(3)基本計画対象区域3	
(4)基本計画策定に至る流れ4	
第1章 南吹田地域を取りまく動向と課題 (1)南吹田地域の特性5	5
1)計画対象区域の沿革5	
2) 上位計画・関連計画の整理9	
3) 周辺の主要プロジェクト13	
4) 南吹田地域の特性と課題15	
(2)南吹田地域のまちづくりの基本的視点17	
(3)南吹田地域まちづくり会議による南吹田地域まちづくり構想19	
(4)小学生によるまちづくり学習21	
第2章 まちづくりの方針 2	9
参考資料 5	5
(1)上位計画・関連計画の概要55	
(2)南吹田地域の特性と課題67	
(3)南吹田地域まちづくり構想概要版75	
(4)小学生によるまちづくり学習83	
(5)用語説明93	

序章

(1)南吹田地域のまちづくり基本計画の目的

南吹田一・二丁目を中心とした南吹田地域においては、昭和 51 年(1976 年)に南吹田第1土地区画整理事業が完了して、30 年余りが経過しています。その間、周辺幹線道路の未整備や、南吹田二丁目に新駅設置の計画がある大阪外環状線鉄道(以下、おおさか東線)の進捗の遅れなどから、土地の有効・高度利用や都市機能の整備が進んでいない状況でした。ようやく、平成 20 年(2008 年)3 月にはおおさか東線の南区間(放出駅~久宝寺駅)が開業し、都市計画道路十三高槻線(寿町工区)や都市計画道路西吹田駅前線の整備など、新たな市街化の動きがあらわれてきています。

また、吹田市においては、平成 18 年度(2006 年度)から「人が輝き、感動あ ふれる美しい都市 すいた」を将来像とする「吹田市第 3 次総合計画」がスタート しており、当地域は、「地域の特性を生かした、魅力あるまちづくりに向けて、市民、 事業者の参画の下で、協働により取り組む」と、位置づけています。

平成 15 年度(2003 年度)策定の「吹田市都市計画マスタープラン」において も、当地域は、「駅の設置とあわせて利便性の高い市街地環境の整備を進め、市域南部の新しい地域拠点の形成をめざす」ことを都市空間の将来像として位置づけており、当地域は、市南部のあらたな地域拠点として、地域特性を生かした魅力的な都市環境の形成に向けた、市民、事業者の参画の下での、協働によるまちづくりの推進が求められています。

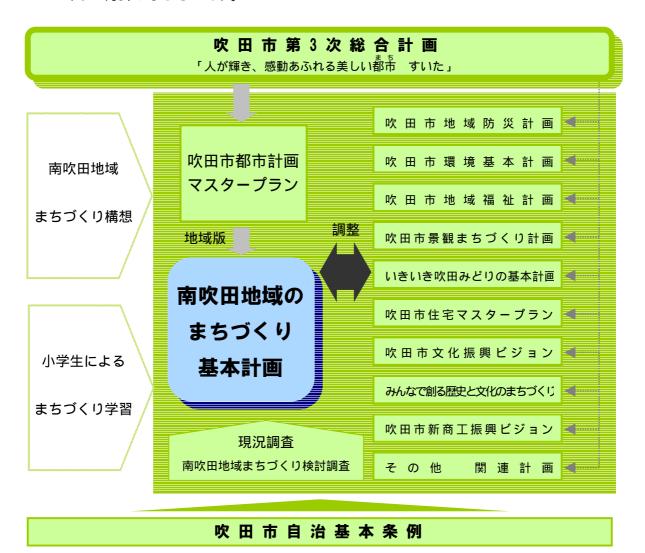
以上のことから、本市では、魅力あるまちづくりの推進に向け、地域の持つ特性を 把握し、市民の参画を得ながら、本市が当地域において今後進めるまちづくりの方針 を示すものとして、「南吹田地域のまちづくり基本計画(以下、基本計画)」を策定し ました。

(2)位置づけと目標年次

【位置づけ】

本基本計画は、本市上位計画である「吹田市第 3 次総合計画」と「吹田市都市計画マスタープラン」の将来像の実現に向け、本市が進める南吹田地域におけるまちづくりの方針です。

本基本計画は、平成 18 年度(2006 年度)の現況調査を踏まえ、平成 19 年度 (2007 年度)「南吹田地域まちづくり会議」から提案された「南吹田地域まちづく リ構想」や、吹田南小学校及び吹田第六小学校の 4 年生児童によるまちづくり学習 の内容を尊重しつつ、南吹田地域に関わる各関連計画と調整した、南吹田地域のまち づくりの方針となるものです。



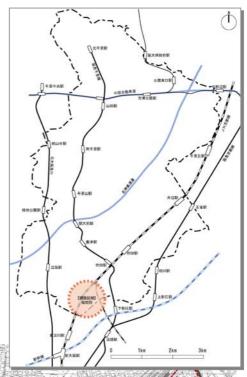
【目標年次】

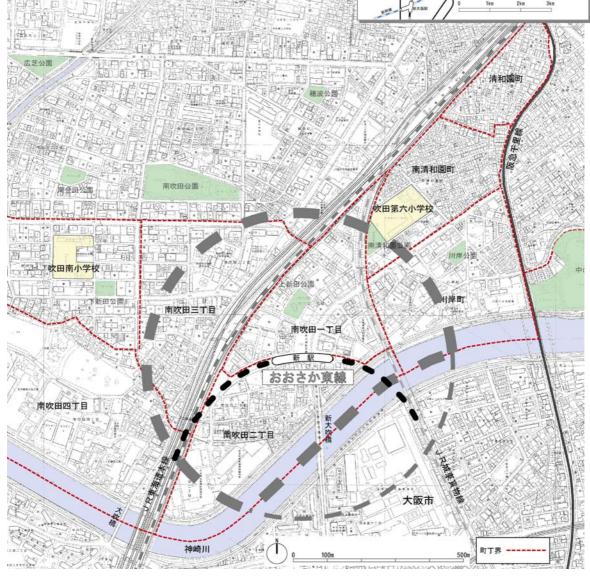
本基本計画の目標年次は、平成30年度(2018年度)とします。

(3)基本計画対象区域

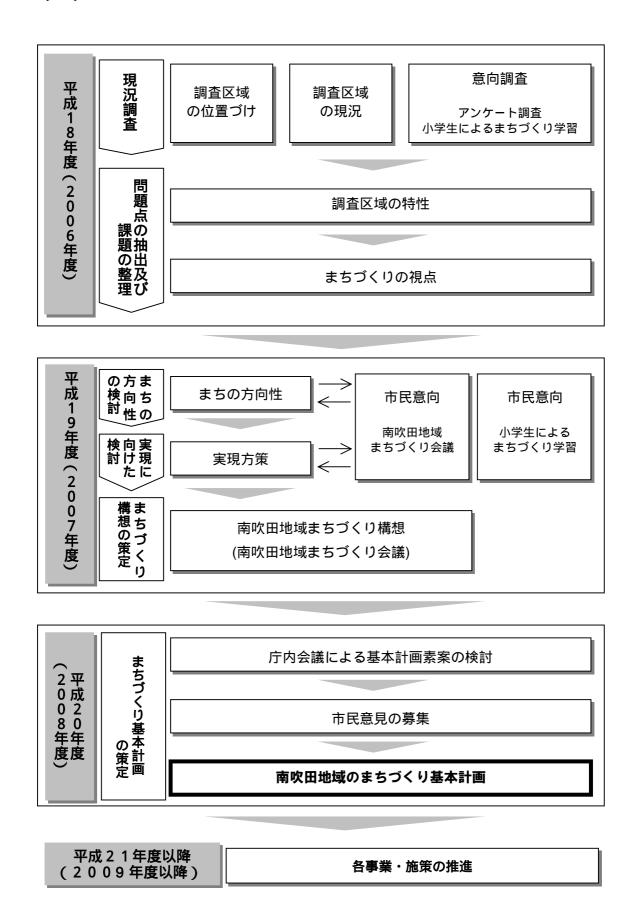
計画対象区域は、吹田市南端部に位置しており、大阪市東淀川区と神崎川を挟んで隣接しています。また、JR 東淀川駅と地下鉄御堂筋線江坂駅、阪急吹田駅、下新庄駅の 4 駅からほぼ中間の位置にあります。

計画対象区域は、おおさか東線の新駅の位置を中心に概ね半径 500mの区域としますが、 具体的な施策・事業の実施にあたっては、各施策・事業毎に設定することとなります。





(4)基本計画策定に至る流れ



第1章 南吹田地域を取りまく動向と課題

(1)南吹田地域の特性

1)計画対象区域の沿革

計画対象区域及び周辺地域はもともと湿田地帯であったが、昭和に入り徐々に工場等の進出及び市街化が進んできました。昭和 51 年(1976 年)には計画対象区域を含んだ南吹田第 1 土地区画整理事業が完了し、都市基盤の整備が進められ、その後、市街化が進み今日に至っています。

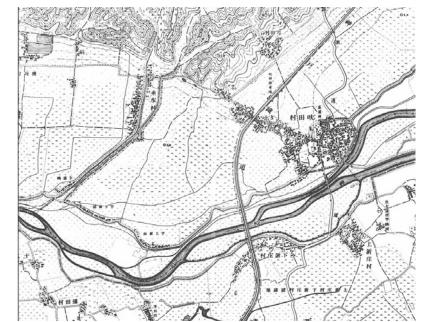
南吹田地域に関する都市基盤施設の整備などの主な経緯は下表のとおりです。

南吹田地域に関する主な経緯

年 月 日	主な経緯	
昭和 27 年(1952年) 12 月	城東貨物線客車運行促進同盟会結成	
昭和 35 年(1960 年)	新幹線新大阪駅構想決定にともない、外環駅起点が吹田駅から 新大阪駅に変更	
昭和 36 年(1961年) 8月24日	南吹田第 1 土地区画整理事業 都市計画決定 126.1ha	
~ ~		
昭和 40 年(1965年) 2月 10 日	南吹田第 1 土地区画整理事業 事業認可	
昭和 41 年(1966年) 6月13日	都市計画道路西吹田駅前線(広場含む)都市計画決定	
昭和 41 年(1966年) 10 月 28 日	南吹田第 1 土地区画整理事業 事業変更認可	
昭和 41 年(1966年) 11 月 26 日	南吹田第 1 土地区画整理事業 仮換地指定	
~ ~	- ~	
昭和 51 年(1976年) 12 月 24 日	南吹田第 1 土地区画整理事業 換地処分	
~ ~	~ ~	
平成 8年(1996年)11月6日	大阪外環状鉄道株式会社設立	
平成 9年(1997年) 3月	新大吹橋(都市計画道路十三高槻線) 架橋 (延長=323m)	
平成 10 年(1998年) 1月13日	都市計画道路十三高槻線(寿町工区 延長=748m) 事業認可	
平成 11 年(1999年) 2月17日	大阪外環状線鉄道 都島~久宝寺間工事施行運輸大臣認可	
平成 14 年(2002年) 12 月 20 日	大阪外環状線鉄道 新大阪~都島間工事施行国土交通大臣認可	
平成 17 年(2005年) 2月22日	大阪外環状線鉄道工事完成時期について 大阪外環状鉄道株式会社公表 全区間(新大阪~久宝寺間)約 20.3km の内 放出~久宝寺間(南区間約 9.2km) 事業中 (平成 19 年度末完成予定) 新大阪~放出間(北区間約 11.1km)	
平成 20 年(2008年) 3月15日	事業予定 (平成 18 年度~平成 23 年度末) おおさか東線南区間(放出~久宝寺)開業	

南吹田地域の変遷

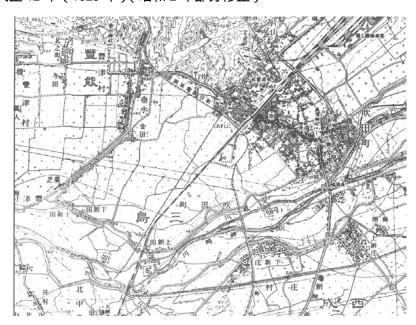
明治 18年 (1885年)



周辺に吹田村・垂水村がある南吹田地域は、概ね湿田になっており、水 路沿いに上新田・下新田の集落がある。

現・阪急千里線の位置に明治 9 年 (1876 年) に開通した国鉄が走っ ている。

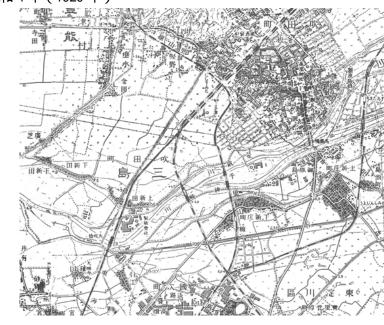
大正 12年 (1923年) (昭和2年部分修正)



大正期に入っても、湿田が広がる地域であるが、神崎川沿いに工場の立|昭和期に入っても、湿田が広がる地域である。 地が進み出している。 国鉄東海道線は現在の位置に移り、その路線跡に新京阪電気鉄道が開通

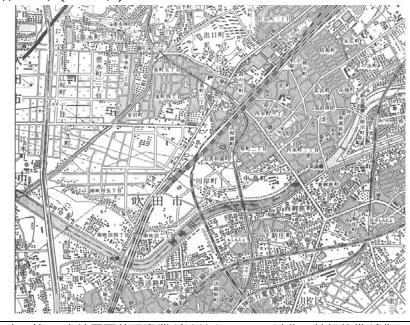
している。(現・阪急千里線) 吹田駅前の開発が進み、明治 22 年 (1889 年) 現アサヒビールも進 出している。

昭和4年(1929年)



昭和6年(1931年)には城東貨物線が開通している。

昭和 42 年 (1967年)



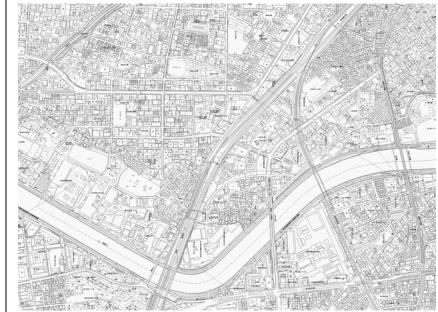
南吹田第 1 土地区画整理事業がはじまり、JR 以北で基盤整備が進んで いる。JR以南でも道路整備が進捗中であることがわかる。 江坂周辺の南吹田第2土地区画整理事業も進捗している。 清和園町・南清和園町の開発が進み住宅地となった。

昭和61年(1986年)



昭和 45 年(1970 年)には大阪万博が開催され、新御堂筋が開通す 平成 9 年(1997 年)に新大吹橋が開通し、神崎川左岸と南吹田地域 るなどし、江坂周辺の開発が進み出している。昭和 51 年(1976 が幹線道路で接続された。 年)には南吹田第 1 土地区画整理事業が完了し、工場や倉庫などの立 地が進んできている。

平成 18年(2006年)



2)上位計画・関連計画の整理

上位計画・関連計画から導き出される計画対象区域の位置づけをまとめると、概ね以下のとおりです。

吹田市第3次総合計画

【まちづくりの基本方向】

これまで営まれてきた地域でのさまざまなコミュニティ活動と連携し、住みよいまちづくりを進めます。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

河川を生かし、ふれあいの場として活用します。

緑化の推進などに努め、生活環境の向上を図ります。

環境と調和した工業の振興を図ります。

【計画】

(仮称)西吹田駅前の整備については、地域の特性を生かした、魅力あるまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。

吹田市都市計画マスタープラン

【都市空間の将来像】(地域拠点としての位置付け)

(仮称)西吹田駅周辺は、駅の設置とあわせて利便性の高い市街地環境の整備を進め、市域南部の新しい地域拠点の形成をめざします。

【まちづくりの重点方針】

(仮称)西吹田駅周辺は大阪外環状線鉄道事業の進捗にあわせて西吹田駅前線の整備を促進し、新駅設置に伴う地域ポテンシャルの向上を踏まえて、駅前としての利便性や集客性をめざした都市機能の立地誘導など土地の有効・高度利用を図るとともに、魅力的な環境の形成を図るためのまちづくりをめざします。

関連計画

【土地利用】

産業機能と居住機能が調和した市街地の形成をめざします。

【立地機能など】

工業者と商業者の交流の場づくりを進め、製販連携による新たな商品やサービスの創造を図り、公的機関による技術指導や市内に立地する大学や研究機関との交流活動を通じて、製品の高付加価値化を進め、本市の商工業の核となるよう支援策を検討していきます。

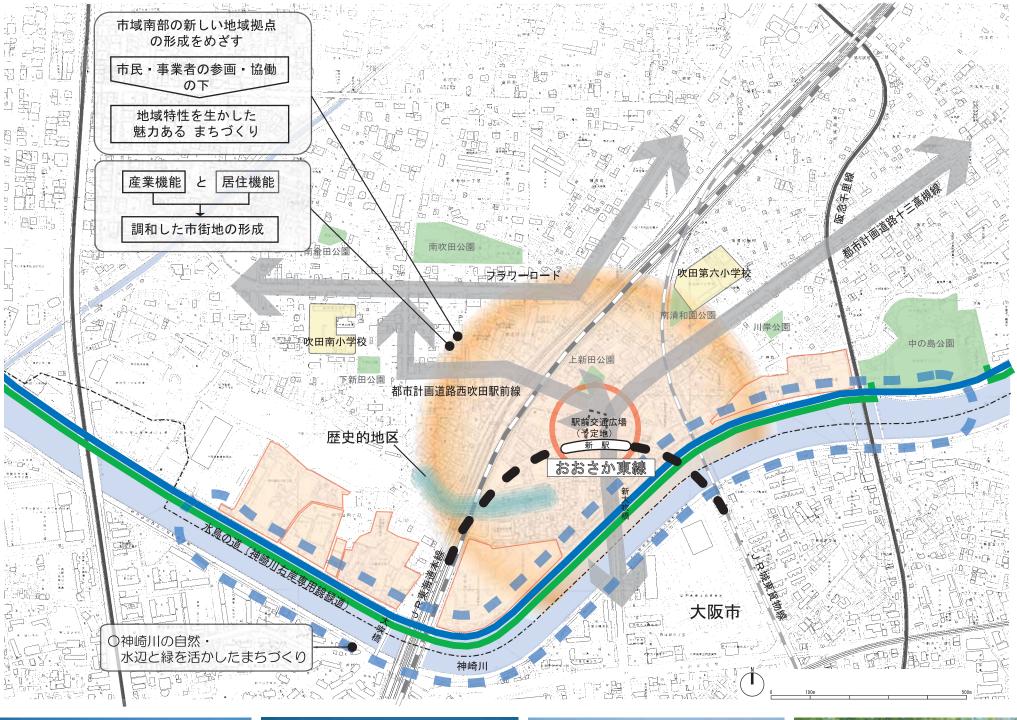
【活用する資源】

神崎川の自然を活かしたまちづくり。 水辺と緑を活かした潤いのある景観をはぐくむ。

【推進方策】

安心・安全な地域生活を実現するため、住民自身による助け合い活動等、地域福祉活動を推進する。

■計画対象区域における上位計画・関連計画の整理





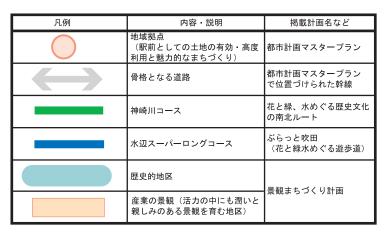
都市計画道路十三高槻線



都市計画道路西吹田駅前線予定地



おおさか東線新駅予定地





神崎川の遊歩道







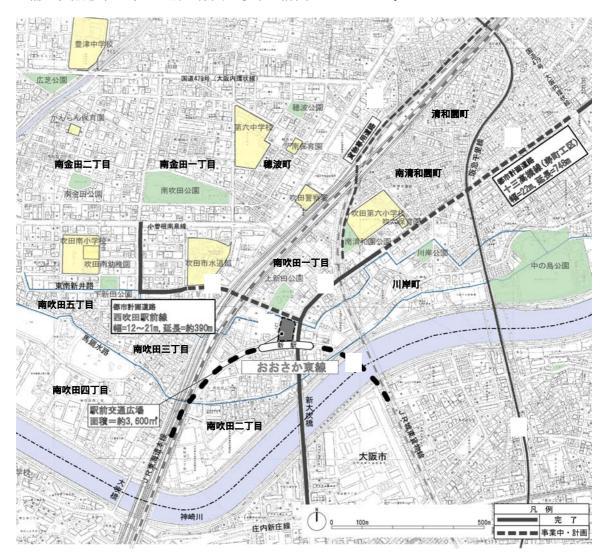
新大吹橋からの眺望 上新田公園

3)周辺の主要プロジェクト

計画対象区域においては、おおさか東線の整備による新駅の設置や都市計画道路十三高槻線の整備が進むことにより、地区外とのつながりが強化されます。

都市計画道路西吹田駅前線の整備により、計画対象区域と JR 東海道本線を挟んで西側の市街地とのつながりが強化されます。

そのほか、吹田貨物ターミナル駅(仮称)の整備に伴う貨物関連自動車専用道路の整備や、阪急千里線の連続立体交差事業が計画されています。



都市計画道路西吹田駅前線の整備

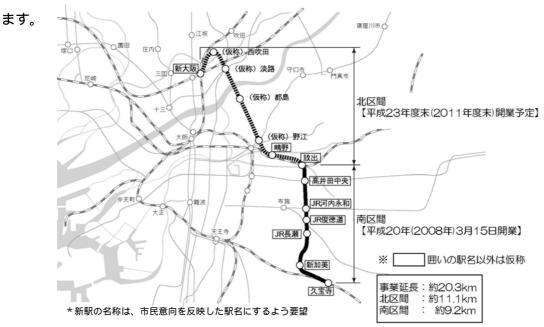
JR 東海道本線の東西市街地を結び、おおさか東線の新駅へのアクセス路となる重要な道路で、平成 28 年度(2016 年度)の完成を目標に吹田市が整備していきます。

駅前交通広場の整備

おおさか東線の新駅の開設にあわせ、吹田市が整備していきます。

大阪外環状線鉄道「おおさか東線」の整備

大阪外環状鉄道株式会社が事業主体であり、「放出」から「久宝寺」までは平成 20年(2008年)3月に開業し、「新大阪」から「放出」までの区間は平成 23年度末(2011年度末)完成予定です。吹田市内では、南吹田二丁目に新駅が計画されてい



都市計画道路十三高槻線(寿町工区)の整備

阪急千里線を地下で立体交差するための工事を含め、国道 479 号(大阪内環状線)から吹田第六小学校前付近の区間(寿町工区)の整備を、事業主体である大阪府が進めています。計画では平成 22 年度末(2010 年度末)に開通予定です。

貨物専用道路の整備

吹田貨物ターミナル駅(仮称)の整備に伴い、貨物関連自動車の運行経路として設置される専用の通路で、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が整備します。 計画では平成22年度末(2010年度末)に開通予定です。

十三高槻線の一部改修

新大吹橋北詰~市道南清和園町 8 号線までの区間において、歩道を拡幅して、植樹帯を設けるなど、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が改修を行います。

阪急京都線・千里線連続立体交差事業

地域分断の解消及び交通の円滑化を図るため、大阪市が事業を進めています。高架化する駅は、「崇禅寺駅」「淡路駅」「柴島駅」「下新庄駅」であり、平成 9 年度(1997年度)に事業着手し、平成 32年度末(2020年度末)事業完了予定です。

4)南吹田地域の特性と課題

計画対象区域の現況・意向調査の結果を踏まえ、下記のように計画対象区域を 3 地区に分けて各地区の特性を総括し、対応すべき課題を整理しました。

	各地区の特性
吹南地区	住宅と工業・流通・業務機能が混在するエリア
(南吹田一・	倉庫等の流通・保管施設の立地が進むエリア
二丁目付近)	共同住宅の立地が進むエリア
	新駅の整備により鉄道利用の利便性が高まるエリア
	低未利用地が点在し、鉄道・道路の整備効果により、土地利用が急速に変化
	する可能性のあるエリア
	緑道や神崎川などがあるが緑地が少なくアメニティ性が低いエリア
	不法駐車が多いなど治安や生活環境面で課題のあるエリア
吹南地区	住宅と流通・業務機能が混在するエリア
(南吹田	流通・業務施設の立地が進むエリア
三丁目付近)	共同住宅の立地が進むエリア
	幹線道路等の整備、江坂への近接性から利便性の高いエリア
	フラワーロードなどがあるが緑地が少なくアメニティ性が低いエリア
	都市計画道路西吹田駅前線の整備により鉄道利用の利便性が高まるエリア
	低未利用地の敷地規模が小さく、大規模土地利用転換の可能性が低いエリア
吹六地区	住宅と工業・流通・業務機能が混在するエリア(川岸町)
(川岸町・	狭隘な道路と老朽化した木造住宅が建て込んだエリア(南清和園町・清和園
南清和園町・	町)
清和園町	阪急吹田付近への近接性が高く利便性の高いエリア
付近)	倉庫等の流通・保管施設の立地が進むエリア (川岸町)
	共同住宅の立地が進むエリア
	都市計画道路十三高槻線の開通により地域東部との連続性が高まるエリア
	低未利用地が点在する都市計画道路十三高槻線沿道は、鉄道・道路の整備効
	果により、土地利用が急速に変化する可能性のあるエリア
	隣接して中の島公園や神崎川などがあるが緑地が少なくアメニティ性が低い
	エリア

各地区の特性を総括し、計画対象区域全体の対応すべき課題は次のように整理されます。

まちづくりの課題

現状の問題に対応

- ・交通や生活サービス等の利便性の向上。
- ・少子高齢化に対応したまちづくり。
- ・安心、安全な生活環境整備、防災と防犯への配慮。
- ・業務系、住居系の住みわけと生活環境面への配慮。

地域の主体性を創出

- ・地域の歴史やコミュニティを継承・持続し、地域の主体性を大切にする。
- ・市民、企業、行政との協働によるまちづくり。

現状の資源を生かす

- ・水と緑を生かしたアメニティの向上。
- ・神崎川や、水路、吹田くわいなど、地域の歴史や地域資源をまちづくりに生かす。
- ・神崎川沿いの産業集積地という立地特性をまちづくりに生かす。
- ・商工業の交流や研究機関等との交流等による産業の発展・立地。

立地の特性を生かす

- ・市南部の新たな地域拠点としての市街地の形成。
- ・南吹田らしさの創出。
- ・吹田の南の玄関口を演出。

立地変化に対応する

- ・新駅や幹線道路整備に伴い駅前交通広場、道路、公園等の再編整備。
- (駅前交通広場へのアクセス・鉄道東西市街地間の動線確保・運動広場機能の確保等)
- ・魅力的な市街地の形成を進めるため、特徴ある公共施設の整備や土地利用、景観形成 などを含めた総合的な全体構想を持つ。

開発への計画的対応

・開発が進むことによる人口増加等の影響を受け止める計画的視点を持つ。 (開発への戦略的誘導、都市基盤の整備、サービス機能の導入等)

(2) 南吹田地域のまちづくりの基本的視点

計画対象区域の特性から整理したまちづくりの課題への対応や、まちの方向性を検討するためのまちづくりの基本的な視点を整理しました。

1)まちづくりの視点整理

平成 18 年度(2006 年度)に実施した意向調査では、交通機関や日常の買物・医療・福祉・市民サービスなどの利便性と交通・防犯・防災などの安全性に対する不満が高く、問題点として、交差点の事故、歩道等の不足、工場等の振動・臭い、不法駐車、治安への不安、ガード下の安全などが具体的に挙げられています。また、まちづくりの方向性としても安心・安全なまちが望まれており、歩きやすい安全な歩行者空間の整備、医療・福祉など、市民生活を支える施設の立地、防犯体制の整備・充実が必要だと選択されています。一方、過半の人がこのまちに住み続けたい思いを持ち、まちづくり活動への関心も高いといえます。このような意向調査の結果からみると、新駅開設など交通利便性の向上を踏まえ、吹田市南部の立地を生かした、安心・安全、かつ、個性とにぎわいのある誇れるまちづくりを進めることが求められており、次の5つの視点を基本的なまちづくりの視点として整理しました。

《 まちづくりの基本的視点 》 《 計画対象地区全体の課題 》 ●安心・安全、快適な環境と機能をより 現状の問題に対応 充実させる 地域の主体性を創出 ●地域が主体のまちづくりを推進する 現状の資源を生かす ●地域拠点としての空間形成を進める 立地の特性を生かす ●高い交通利便性など、立地特性を 最大限に生かす 立地変化に対応する ●「南吹田 」としての良好な地域イメージ (地域アイデンティティ)を創出・発信 開発への計画的対応 する

2)まちづくりの基本的視点

計画対象区域及びその周辺地域における今後のまちづくりを考える上での基本的視点の具体的内容は下記のとおりです。

●安心・安全、快適な環境と機能をより充実させる

南吹田はこれまでも暮らしの場として多くの市民が生活しており、今後も暮らし続けることが基本です。また、これまで以上に多くの市民の居住が進む可能性があります。 そのため、暮らしの場として必要な機能と環境をまちの基礎的条件として備えるとともに、より安心で快適な生活環境を充実させるという視点。

●地域が主体のまちづくりを推進する

地域住民や地域に立地する企業等が互いに協力し、自らが主体となって地域に根ざした「協働のまちづくり」を推進するという視点。

●地域拠点としての空間形成を進める

南吹田は吹田市南部の地域拠点として発展することが求められており、そのためにふさわしい空間形成を進めるという視点。

●高い交通利便性など、立地特性を最大限に生かす

おおさか東線や都市計画道路十三高槻線の開通、江坂や新大阪との近接性、神崎川沿いへの産業集積、リバーフロントなどの立地環境のポテンシャルを最大限に生かし、南欧田のまちの発展を促すという視点。

●「南吹田」としての良好な地域イメージ(地域アイデンティティ)を 創出・発信する

現状では「南吹田」としての明確な地域イメージはないが、ハード・ソフト両面からのまちづくりを進めることにより、良好な地域イメージを創出し、地区内外に発信することにより、南吹田のイメージアップを図るという視点。

(3) 南吹田地域まちづくり会議による南吹田地域まちづくり構想

1)南吹田地域まちづくり構想の位置づけ

南吹田地域(新駅を中心に概ね半径 500m の区域)では、おおさか東線の新駅設置や周辺の幹線道路の整備などが進み、地域の利便性が飛躍的に高まることとなる中、当地域が吹田市の南の玄関口として魅力あるまちとして発展していくよう、地域のまちづくりについて話し合う場として、南吹田地域まちづくり会議(以下、まちづくり会議)を、平成 19年(2007年)7月21日に設置しました。

まちづくり会議では、南吹田地域のまちづくりについて話し合いを重ね、まちの将来像として「南吹田地域まちづくり構想(以下、まちづくり構想)」をとりまとめました。

この、まちづくり構想は、まちづくり会議において、地域に関わる人々から出された、日常の暮らしや働く中で感じたり、考えたりしている、生活感覚から出された様々な意見を整理・検討し、まちの将来像として取りまとめたものです。

まちづくり構想は、「まちの方向性」と、その実現に向けた「まちづくり方策」によって構成されており、平成20年(2008年)3月7日に、まちづくり会議の有志によって吹田市へ提案されました。









2)南吹田地域まちづくり構想の概要

まちづくり会議では、南吹田地域のまちづくりを進めるに当たってのまちの将来像として、以下のように、6つの「まちの方向性」と27の「まちづくり方策」をまちづくり構想に位置づけました。

~ まちの方向性とまちづくり方策~

	おおさか東線及び新駅の整備
	新たな地域分断とならない鉄道計画
	便利で利用しやすい駅前広場の整備
人の行き来がしやすいまち	みんなが安心して歩ける道づくり
	地域と周辺のまちをつなげる道路の整備
	駅周辺での自転車駐車場の整備
	周辺のまちとつながる路線バスの導入
	子どもからお年寄りまで誰もが使いやすい公園整備
住んでいる人、	便利に暮らせる商業施設、公共公益施設等の立地
働いている人が安心して、	住みやすい環境を守るためのルールづくり
便利に楽しく過ごせるまち	活気のあるまちにするための学びの場づくり
	暮らしの安心感を高める施設の立地
	花や緑のあふれる駅前広場づくり
	散歩したくなる並木道づくり
花や緑がいっぱいで美しいまち	幹線道路沿いの美しい景観づくり
	住宅地での花や緑のあふれるまちなみづくり
	花や緑のあふれる公園づくり
	地域の個性を表現し、愛着を持って利用する新駅の整備
地域の風土に親しむまち	神崎川を活用したまちづくりイベント
地域の風土に続してより	神崎川沿いのうるおいある空間形成
	農業の歴史を留め伝える取り組み
	地域コミュニティを育てる場・きっかけづくり
ふれあい・憩う・笑顔のまち	防犯・防災、生活マナー向上への地域活動
	よりよいまちにするための「まちづくり活動」
	地域と企業が共存したまちづくり
働く場もある活力のあるまち	企業活動を地域に PR する取り組み
	住環境に配慮した操業の継続

(4)小学生によるまちづくり学習

吹田南小学校と吹田第六小学校の 4 年生を対象に、将来を担う子どもたちに、まちのことに目を向けてもらい、将来のまちの姿を描いてもらうことを目標に、「まちづくリ学習」に授業の一環として取り組み、南吹田のまちづくりをテーマとしたワークショップ等を実施しました。吹田南小学校では紙芝居として、吹田第六小学校では模型として仕上げ、まとめました。

1)吹田南小学校

まちづくり学習の概要

「大人」「子ども」「高齢者」「障害者」など多様な立場に立って、用意したイメージ 写真から南吹田のまちがこんなまちになったらいいなと思う写真を4枚選び、「南吹田 のまちづくり物語」を考え、4コマの紙芝居に仕上げました。

その1:南吹田のまちを歩く

その2:まちづくりマップをつくる

その3:南吹田がどんなまちに なったらいいか考える

その4:南吹田のまちづくり物語 をつくる

その 5: 南吹田のまちづくり物語 を発表









物語づくりで出されたまちづくりの考え方

児童は30のグループに分かれ物語づくりを行い、作成した物語のタイトルは、下表のような内容となり、「安全なまち」「きれいなまち」「にぎやかなまち」など、様々な視点が出されました。

物語づくりで考えられたタイトル

	タイトル	物語づくりにおいて設定した「立場・テーマ」
1	きれいな散歩道のある吹田	障害者
2	体の不自由な人でも通りやすい町南吹田	体の不自由な人
3	障害のある人でも自然がいっぱい南吹田	障害者
4	自然がたくさんな町南吹田	自然
5	にぎやかな町南吹田	環境
6	障害者の人でも豊かに暮らせる町南吹田	障害者
7	安心できて自然がたくさんある南吹田	大人
8	にぎやかな町南吹田	環境
9	安全で楽しい町作り	安全
10	すてきな町南吹田	お年寄り
11	お年寄りも楽しく暮らせる南吹田	お年寄り
12	お年寄りの人も楽しく暮らせる南吹田	お年寄り
13	お年寄りが昔のことを思い出せる町南吹田	お年寄り
14	子どもが楽しく遊べる町南吹田	子ども
15	お年寄りでも楽しく過ごせる町南吹田	お年寄り
16	キレイな町南吹田	大人
17	楽しくきれいな町南吹田	大人
18	小さい子どもも安全に楽しく遊べるまち	子ども
19	家族みんなで楽しくお買い物ができる町南吹田	家族
20	みんなの町、西吹田~ 家の1日~	子ども
21	子どもも気軽に遊べる町南吹田	子ども
22	大人も楽しめる町南吹田	大人
23	きれいな町南吹田	障害者
24	体の不自由な人でも行ける散歩道	体の不自由な人
25	便利な町南吹田	大人
26	楽しい町南吹田	お年寄り
27	安全な町南吹田	安全
28	旅に行くぞ新たな駅へ	ペット
29	赤ちゃんも楽しめる町南吹田	赤ちゃん
30	ペットが気持ちよく散歩できる町南吹田	ペット









小学生がまとめた紙芝居(一部)

例 1

お年寄りも楽しく暮らせる南吹田

- ・南吹田に観光に行きましょう
- ・桜の並木の道を通って
- ・坂もなくていいですね
- ・きれいな花があります
- ・大きな木の下でご飯を食べましょう
- ・ベンチがあっていいですね
- ・八百屋さんのキュウリ安くて人気の お店
- ・目的は 夕日 間に合った きれい
- ・近くに新しい駅が出来て
- ・電車に乗って帰りましょう











例 2

みんなの町・西吹田

家の1日

日曜日 子ども達はお母さんと一緒 に電車に乗っておでかけ

- ・まずは公園に行こう
- ・とちゅう 散歩道にさしかかり 広い道だね
- ・公園でお母さんは少し休憩
- ・野球するぞ
- ・そろそろ買物にいこう デパートで買物しよう
- ・広い いろんなお店があるね
- ・レストランでご飯をたべようか
- ・西吹田駅にはいろんなところがあり ますね







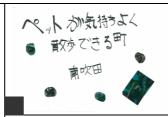




例 3

ペットが気持ちよく散歩できる町南 吹田 サルと大トカゲとイヌと

- ・散歩道きれい
- ・春は桜を観に行こう きれい
- ・マンションがあって、花や木が 植わってる
- ・でも またマンション、ペットに とって自然破壊は敵
- ・自然のいっぱいの川、山がある
- ・ここで 寝たい 草を食べる
- ・川の温泉に入ろう
- ・最終目的地の西吹田駅 きれいなところ
- ・吹田市の人はまちが 使いやすくなるね







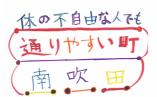




例 4

体の不自由な人でも通りやすい町南 吹田

- ・みんなで車いすに乗って駅に行きます
- ・木がいっぱいの道
- ・まんなかが広い公園のある住宅街を 通って
- ・この道「いっぱい木があるな」みん なで感動
- ・住宅街は大きな家の一軒家が多いな
- ・店がちらほらあります
- ・緑がいっぱいあるから、ほんまにき れい
- ・この町はいろいろあるからきれい
- ・住宅街を抜けて駅がみえてきました
- ・駅の前にコンビニがあって、ジュー スを買いました
- ・切符を買って電車を待っていました 人がいっぱい
- ・電車に乗って目的地にいきました 今日は本当に楽しかった











2)吹田第六小学校

まちづくり学習の概要

グループに分かれてまちを歩き、どんなまちになったらいいかを考え、まちに必要な「もの」「場所」を整理した上で、模型づくりに向けた「まちの設計図」を作成し、「南吹田のまちの模型」に仕上げました。

その1:南吹田のまちを歩く

その2:まちづくりマップをつくり、 南吹田がどんなまちに なったらいいか考える

その3:まちの設計図づくり

その4:まちの模型づくり

その5:南吹田のまちの模型 を発表









子どもの視点から考えたまちの将来像

南吹田地域が将来どのようなまちになったらよいと思うか、言葉にしてまとめてもらいました。その内容から、子どもたちがまちの将来像に対してどのような視点を持っているのか整理しました。

視点	きしました。 内容
便利で豊	花や緑が多く豊かできれいなまち。
かなまち	明るく、人が通りやすい道。
	南吹田がもっと目立ってきれいで明るくて便利なまちだったらいいと思
	う。
	南吹田がもっと便利でお年寄りが住みやすいまちになるといい。
	南吹田の面白いところやいいところ(ぐるぐるの道など)を残してほしい。
	おじいさんやおばあさんが笑顔でくらせるまちになったらいい。 便利でおもしろく住みやすく楽しいまち。
	自然が多くきれいで便利な住みやすい安全なまち。
	南吹田がもっとにぎやかまちになったらいいと思う。
楽しいま	楽しくて便利なまち。
なった。	田んぼや花畑などは残していきたいな。
	わくわく、どきどきするほど楽しいまちになってほしい!!
	みんなが楽しく便利なまちになって環境のよいところでもあってほしい。
	公園は小さな子からお年寄りまで、使えるところがあるまち。
	明るくて、みんなが笑顔でいられるところ。
	おもいっきりさけべるところ。
	歩道があったらいいのに。
	コンビニエンスストアがあったらいい。
	カラフルなお店があるところ。 L.ストランがタイかスまた
	レストランが多くなるまち。 もっとお菓子やさんが多いまち。
	もっとにぎやかなパークみたいなところがいい。
気持ちの	木や花がたくさんある、暮らしやすいまち。
良いまち	もっとスーパーや市場、自動販売機がいっぱいあるまち。
	自然があって遊べるまち。
安全なま	もっと南吹田のまちがきれいになってほしい。
ち	安全で危なくないまち。
	交通安全のまち。
± + 11 +>	環境にやさしいまち。
きれいな	ポイ捨てやタバコの吸いがらを道路に捨てるのをやめてきれいなまちにし たい。
まり	たい。 きれいでゴミが少ないまち。
	スピード違反、駐車違反がなくなればいいのになぁ。
	子どもたちが楽しく遊べて、緑や森林がたくさんあって、いいところ(き
	れいなところ)がたくさんあるまち。
	いいところがたくさんあったから、もっと増やしてほしい。
	落書きがなくなればいい。
	犬や猫を捨てない。
	ゴミは分別しよう。まだ使えるゴミはまだ使う。
	リサイクルおもちゃを作ろう。
	みんなで、地球を大切にしよう!!
	きれいにたのしくおもしろく。
	きれいで健康なまち。 川や海がキレイになったらいいな。
	カルトサルコ レコ になったらv iv iva。







第2章 まちづくりの方針

第1章「南吹田地域を取りまく動向と課題」を踏まえ、「地域とともにつくる、魅力ある吹田の南の玄関口」を目標像とし、本市が南吹田地域で推進するまちの方向性とまちづくり方策を下記のとおり整理しました。

地域とともにつくる、魅力ある吹田の南の玄関口

まちの方向性	まちづくり方策
3, 3, 3, 1, 1, 1	おおさか東線及び新駅の整備促進への取り組み
	新たな地域分断とならない鉄道計画
	便利で利用しやすい駅前交通広場の整備
人の行き来がしやすいまち	地域と周辺のまちをつなげる道路の整備
	みんなが安心して歩ける道づくり
	駅周辺での自転車駐車場の整備計画
	周辺のまちとつながる路線バスの導入
	子どもから高齢者まで誰もが使いやすい公園整備
住んでいる人、	便利に暮らせる商業施設、公共公益施設等の立地
働いている人が安心して、	住みやすい環境を守るためのルールづくり
便利に楽しく過ごせるまち	活気のあるまちにするための学びの場づくり
	暮らしの安心感を高める地域づくり
	花や緑のあふれる駅前交通広場づくり
花や緑が	散歩したくなる並木道づくり
いっぱいで美しいまち	幹線道路沿いの美しい景観づくり
	住宅地での花や緑のあふれるまちなみづくり
	花や緑のあふれる公園づくり
	地域の個性を表現し、 愛着を持って利用する新駅の整備
世代の日十に知し かまた	神崎川を活用した地域ブランドづくり
地域の風土に親しむまち	神崎川沿いのうるおいある空間形成
	地域の歴史と文化を留め伝える取り組み
	地域コミュニティを育てる場・きっかけづくり
ふれあい・憩う・笑顔のまち	防犯・防災、 よりよいまちにするためのまちづくり活動
	みったいようにするにののようフィリ伯割

働く場もある活力あふれるまち

地域と企業が共存したまちづくり

住環境に配慮した企業活動への支援

まちの 方向性 1

人の行き来がしやすいまち

南吹田地域に住む人たちの通勤や通学、買い物、通院などが便利で、地域の外から多くの人が訪れるように、南吹田地域と周辺のまちとの行き来がしやすい、交通の便利なまちを目指します。

そのためには、まず、地域で計画されている新しい駅や、周辺のまちとつながる幹線 道路の整備に向けて、事業の推進や関係機関との連携を進めます。

また、人の行き来がしやすいまちを考える上では、鉄道や路線バスなど、公共交通が 充実したまちであるとともに、バリアフリー化されていて、交通安全にも配慮された、 安心・安全に歩けるみちがあり、自動車に過度に依存しない「歩いて暮らせるまちづく り」を進めます。

おおさか東線及び新駅の整備促進への取り組み(都市整備部・建設緑化部) 大阪外環状鉄道株式会社が事業主体である「おおさか東線」の南区間(放出駅~久宝 寺駅)は、平成20年(2008年)3月に開業しました。北区間(新大阪駅~放出駅)は、 平成23年度末(2011年度末)完成予定で事業が推進されています。

吹田市では、北区間の事業推進に関しては、 大阪外環状鉄道株式会社の株主である立場から、 補助・出資・貸付を行なうとともに早期完成を 要望していきます。また、南吹田地域に整備さ れる新駅の整備にあたっては、大阪外環状鉄道 株式会社と連携しバリアフリーを含むユニバー サルデザインを推進します。



おおさか東線新駅予定地(南吹田二丁目)

新たな地域分断とならない鉄道計画(都市整備部・建設緑化部)

南吹田地域において、大阪外環状鉄道株式会社が計画されているおおさか東線の鉄 道構造は、鉄道の整備により人の行き来やコミュニティのつながりが分断されないよ う、平成14年(2002年)より高架構造へ変更するよう協議を進めてきました。 このたび、事業主体である大阪外環状鉄道 株式会社が鉄道計画を見直され、盛土構造か ら高架構造に変更し事業を推進されます。

地域の現状を踏まえ、高架下で必要な交通 動線の確保を引き続き大阪外環状鉄道株式会 社と協議していきます。



おおさか東線鉄道建設予定地 (南吹田二丁目)

便利で利用しやすい駅前交通広場の整備(建設緑化部)

吹田市では、おおさか東線新駅の開設にあわせ駅前交通広場の整備を進めます。 駅前交通広場の整備に際しては、鉄道を利用する人がバスやタクシーなどに乗り換え しやすい、安心、安全でバリアフリー化に対応した交通動線計画を策定していきます。

地域と周辺のまちをつなげる道路の整備(建設緑化部)

長期にわたり、JR 東海道本線などによって地域分断された南吹田地域が、周辺のまちとつながり、行き来がしやすいまちとなるよう、都市計画道路西吹田駅前線の平成 28 年度(2016年度)の完成を目標に整備していきます。

都市計画道路西吹田駅前線予定地

都市計画道路十三高槻線(寿町工区)の整 都市計画道路西吹田駅前線予定地 (南吹田一丁目)

備に関しては、事業主体の大阪府に対し、整備の推進を要望していきます。

みんなが安心して歩ける道づくり(都市整備部・建設緑化部)

南吹田地域では、幹線道路整備が進むことにより交通量の増加が見込まれます。誰 もが安心して快適に歩けるまちとするために、都市計画道路西吹田駅前線の整備に際 しては、安心、安全でバリアフリー化に対応した歩道を整備し、信号機の設置を交通 管理者に要望していきます。

また、通学路等の路側帯の色分けや学校や地域などにおける交通安全教育も推進します。

さらに、都市計画道路十三高槻線の新大吹橋北詰~市道南清和園町8号線の区間においては、平成18年(2006年)2月10日に締結した吹田貨物ターミナル駅(仮称)建設事業の確認書に基づき、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が、歩道の拡幅整備を行うよう協議・調整します。さらに吹田貨物ターミナル駅(仮称)整備に伴う貨物専用道路の出入口となる市道南吹田36号線と都市計画道路十三高槻線との交差点に信号を設置する方向で関係機関と協議・調整します。





都市計画道路十三高槻線 (南吹田一丁目)

駅周辺での自転車駐車場の整備計画(建設緑化部)

駅利用者の利便性を高めるとともに、自動車に過度に依存しない交通環境として、また歩行者・自転車優先のまちづくりの一環として、おおさか東線の新駅の開設にあわせ、駅周辺での自転車駐車場の整備に関しては、事業主体や整備計画も含め、大阪外環状鉄道株式会社等関係機関と協議を進めていきます。

また、レンタサイクルの活用推進、自転車利用者のマナー向上に向けた取り組みを推進し、おおさか東線新駅周辺での自転車の路上放置の予防に努めます。

周辺のまちとつながる路線バスの導入(建設緑化部)

駅前交通広場の交通結節点としての機能を 高めるため路線バスの導入を図っていくこと を考えています。

バス事業者において、おおさか東線の新駅の開設、都市計画道路西吹田駅前線の完成にあわせて路線バスの運行計画が進められます。



「水道部前」バス停(南吹田三丁目)

まちの 方向性 2

住んでいる人、働いている人が安心して、 便利に楽しく過ごせるまち

南吹田地域が、住む人にとっても、働く人にとっても安心して、便利に楽しく過ごせるまちを目指します。

そのためには、災害や犯罪に強いまちとするとともに、身近で利用しやすいところで買い物や通院などができるように、暮らしを支え、安心感を高めるお店や施設の立地の誘導に努めます。

また、子どもから高齢者までが気軽に立ち寄り遊んだりくつろいだりできる公園としていくことも「楽しい生活」を送るために必要なことです。

さらに、今後、交通量の増加が予想される中、交通利便を生かした住宅開発や店舗立 地などが進むことに対し、住みやすい環境を守る地域の取り組みを支援していきます。

子どもから高齢者まで誰もが使いやすい公園整備(建設緑化部)

都市計画道路西吹田駅前線の整備の関連工事として上新田公園の再整備を図ります。公園再整備に当たっては、子どもから高齢者まで、広く地域住民との協働による公園再整備計画を策定し、再整備していきます。



上新田公園(南吹田一丁目)

また、南吹田地域を含む全市域において、公園・緑地サポーター事業など市民との協働によ

る公園環境美化等に対する制度的な位置づけを行います。

便利に暮らせる商業施設、公共公益施設等の立地

(政策推進部・都市整備部・関連部)

南吹田地域において、新駅や都市計画道路の整備が進み、交通利便性が高まると、 南吹田地域に住む人や訪れる人が増加することが想定されます。新駅を中心として生 活利便性の高いまちを目指し、地域住民や鉄道利用者の生活利便性を高める公共公益 施設の整備を、おおさか東線の高架下の活用等も含めて検討します。 高まる交通利便性を要因として、南吹田地域ではマンション開発や商業施設の立地需要が高まることが想定されますが、用途地域制度等による土地利用の規制・誘導を図ります。

また、南吹田地域を含む全市域において、商業施設などの生活利便性を高める施設の立地に対する地区計画制度等によるルールづくりに、地域住民や地権者が取り組むに当たっては、地域による主体的なまちづくりの支援に努めます。

住みやすい環境を守るためのルールづくり(都市整備部)

南吹田地域を含む全市域において、住環境を保全するためのルールづくりに地域住民や地権者が取り組むに当たっては、ルールづくりに関する出前講座の活用など、良好な住環境づくりに向けた地域の主体的なまちづくりの支援に努めます。



住宅地(南吹田二丁目)

また、建築協定や地区計画等の制度の活用を図るとともに、「吹田市開発事業の手続等に関する条例」に基づき、開発事業に対するきめ細やかな規制、誘導を進めます。

活気のあるまちにするための学びの場づくり

(学校教育部・地域教育部・体育振興部)

地域住民の暮らしを豊かなものとする学びの場づくりを、南吹田地域を含む全市域 において進め、より活気のあるまちを目指します。

市民の学びの場として、公民館や小・中学校教室開放などを活用した学習活動を充実し、生涯学習の機会と場の提供を図ります。また、地区公民館の改修など、社会教育施設の充実を図るとともに、学習・文化サークル活動の育成や学習活動の支援にも努めます。

子どもたちの学びの場である学校教育においては、中庭など校庭の芝生化や学校ビオトープ及びみどりのカーテンづくりなどの体験的な環境学習の推進や、地域人材を

活用するなど、環境教育の充実を図るとと もに、学校等支援者ボランティアネットワーク事業を進めるなど、子どもたちの学び を地域に広げる取り組みも進めます。

特に南吹田地域では、児童数の推移も考慮して、教育環境の低下をまねかないよう 普通教室の確保等の対策を進めるなど、子 どもたちの学びの場である学校教育施設の 充実も図ります。



ビオトープ(吹田第六小学校)

小学校の施設や学習資源を活用して、地域で子どもたちが安心して安全に過ごせる 居場所や体験活動の場を提供するこどもプラザ事業を進めるなど、青少年の健全育成を図るとともに、すべての人を対象に既存の体育施設や身近な学校体育施設を有効に活用した地域スポーツの振興も図ります。



こどもプラザ事業

暮らしの安心感を高める地域づくり

(政策推進部・児童部・福祉保健部・都市整備部・建設緑化部・ 下水道部・消防本部・水道部・学校教育部・地域教育部)

地域に関わる方々の暮らしの安心感を高め、誰もが安心して南吹田地域で暮らすことができるまちを目指します。

災害に強いまちづくりとして、特に南吹田地域では駅前交通広場での耐震性防火水槽の整備、浸水被害の防止に向けた下水道の能力増強を進めます。また、全市域において、公園の再整備においては防災機能を高めた施設の整備促進、住宅等の建築物の耐震化促進、住民による自主的な防火活動の推進や初期防災活動体制の充実



を図るなど、市街地の防災環境の整備に努めます。また、安定した安心・安全な水道 の供給のために浄配水施設等の整備に努めます。

犯罪に強いまちづくりとして、全市域において地元要望を聞きながら年次的な防犯灯の設置をはじめ、地域の防犯活動団体の連携を強めるための拠点となる安心安全コミュニティスポットの設置や青色防犯パトロール車に対する防犯活動の支援等を進めます。また、子どもたちの安全を確保するため、警備員を市立の小学校、幼稚園及び保育所の正門等に配置するなどの学校園における安全対策や、小学校PTAによる安心安全マップの作成支援などの地域と協力した体制の確立を進めます。



安心安全コミュニティスポット (吹田第六小学校)

また、就労支援としての保育所や留守家庭児童育成室を充実するとともに、地域子育て支援センターを軸に育児教室や育児相談、子育てサークルの育成支援等、総合的な子育て支援に取り組み、すべての子どもが健やかに育つまちづくりを推進します。

高齢者や障害者の暮らしを支えるまちづくりとして、安心して暮らせるまちの環境 づくりと多世代交流の推進を図ります。例えば、グループホーム等、地域密着型介護 サービス施設の整備促進、地域の支えあいネットワークづくりの推進などが挙げられ ます。

地域住民の健康を守るために、地域医療体制の整備や保健事業の推進に努めます。

まちの 方向性 3

花や緑がいっぱいで美しいまち

南吹田地域は、土地区画整理事業完了後、住宅や事業所、工場が混在したまちになっていますが、おおさか東線や都市計画道路西吹田駅前線整備などでまちの骨格は整います。今後、住宅開発などが予想される中、地域の美しく魅力的なまちづくりの視点も必要と考えます。そのために、地域に住んでいる人やまちに来る人が、新駅周辺や幹線道路、まちかど、庭先や公園に、花や緑がいっぱいで美しいまちと感じるまちなみを目指します。

花や緑のあふれる駅前交通広場づくり(建設緑化部)

おおさか東線新駅の開設とあわせて整備する駅前交通広場は、交通結節点としての機能を保ちつつ限られたスペースを有効活用し、地域の意見を可能な限り反映しながら、花や緑に配慮した施設の配置計画を検討します。

散歩したくなる並木道づくり(都市整備部・建設緑化部)

南吹田地域と周辺の地域を結ぶ道路として整備する都市計画道路十三高槻線や都市計画道路内田駅前線は、様々な人が南吹田地域に訪れる際に利用する道路であるとともに、地域住民の生活を支える主要な道路でもあります。これらの道路に街路樹を施し、地域住民や訪れた人にとって気持ち



イチョウ並木 (川岸町)

のよい、散歩したくなるような美しい空間とすることを目指します。

都市計画道路西吹田駅前線の整備に際しては、周辺の景観に配慮した街路樹の整備に努め、誰もがわかりやすく、円滑に移動できるような案内標識の設置を検討します。

都市計画道路十三高槻線の新大吹橋北詰~市道南清和園町 8 号線の区間においては、 平成 18 年(2006 年)2 月 10 日に締結した吹田貨物ターミナル駅(仮称)建設事業 の確認書に基づき、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が、歩道拡幅とと もに植樹帯の整備を行うよう協議・調整します。

幹線道路沿いの美しい景観づくり(都市整備部)

交通利便性の高まりなどによって、南吹田地域と周辺の地域を結ぶ道路として整備する都市計画道路十三高槻線や都市計画道路西吹田駅前線沿道には、様々な施設立地が進む可能性が高まりますが、それらの立地に際して、地域全体として調和のとれたまちとなるように、建物や看板などを対象とした景観に配慮するルールづくりの推進を目指します。

また、南吹田地域を含む全市域において、出前講座等を活用して地域が景観について学ぶことや、景観協定等の制度の活用などに、地域が取り組むに当たっては支援していきます。

さらに、まちの皆さんと専門家等や行政との協働による景観まちづくりに取り組ん でいきます。

住宅地での花や緑のあふれるまちなみづくり(都市整備部・建設緑化部)

南吹田地域全体が、花と緑がいっぱいの 美しいまちとなるために、宅地内の緑化も 促進することが大切だと考えます。

そのため、今後発生する住宅開発においては、南吹田地域を含む全市域において「吹田市開発事業の手続等に関する条例」による良好な敷地内緑化の誘導とともに、 緑地協定、みどりの協定や生垣等緑化推進



住宅地の緑化(南吹田二丁目)

助成等による庭や生垣など外部空間の緑がより豊かなものとなるような住民自身による花や緑による街並みづくり活動の推進を支援し、良好な沿道景観の誘導を進めます。

また、花や緑あふれる環境に調和する住宅地に向けた、ルールづくりに地域が取り組むに当たっては、出前講座や景観協定等の制度の活用などを支援していきます。

花や緑のあふれる公園づくり(建設緑化部)

都市計画道路西吹田駅前線の整備の関連工事として上新田公園の再整備を図ります。 公園再整備に当たっては、子どもから高齢者まで、広く地域住民との協働による公園 再整備計画を策定し、再整備していきます。

また、地域による公園の花や緑の管理に取り組むに当たっては、上新田公園内に必要な散水栓の増設を図ります。

さらに、全市域において剪定枝や枝葉木・ 刈草のリサイクルに取り組んだり、地域による公園の花や緑の管理も視野に入れながら、 「吹田市開発事業の手続等に関する条例」に よる提供公園内への散水栓の施設整備指導や、 公園・緑地サポーター事業の充実を図ります。



フラワーボランティアによる花壇 (江坂公園)



まちの 方向性 4

地域の風土に親しむまち

南吹田地域の南には神崎川が流れており、水辺の散歩道や開放感ある景色が楽しめます。また、地域にはかつて水田が広がっており、吹田くわいの栽培地でもありました。 地域には、今も農地が残り、馬廻水路や東南新井路といった農業用水路が通っています。

このような、地域がかつて水田地帯であったことを表す「資源」や神崎川を生かした、地域の風土に親しむまちを目指します。

地域の個性を表現し、愛着を持って利用する新駅の整備

(都市整備部・建設緑化部)

おおさか東線新駅の開設とあわせて整備する駅前交通広場は、南吹田地域の住民をはじめとして多くの市民が利用する場所となります。

南吹田地域の玄関口となる駅前交通広場の 整備は、駅前交通広場の交通結節点としての

機能を保ちつつ、限られたスペースを有効活用し、地域の意見を可能な限り反映しながら、 地域の個性の表現や周辺環境の調和を図った 整備に努めます。



防災チャリティーイベント にぎにぎわいわい夏祭り (JR吹田駅周辺にぎわいまちづくり 活性化協議会:JR吹田駅)

また、おおさか東線の新駅・新線が、地域の玄関口としてふさわしいものとなり、 まちの景観などに配慮した設計となるように協議をすすめ、まちの顔となる景観や活 気とにぎわいのある景観となるよう大阪外環状鉄道株式会社と協議していきます。

さらに、おおさか東線の新駅の名称については、地域にふさわしい「南吹田駅」と なるよう西日本旅客鉄道株式会社へ引き続き要望していきます。

神崎川を活用した地域ブランドづくり(産業労働にぎわい部・下水道部)

南吹田地域の南側を流れる神崎川は、地域にうるおいを与える水辺空間として、住民に親しまれ、神崎川畔企業連絡会がアドプト・リバー・プログラムを活用した活動を行っています。南吹田地域の神崎川沿いが、多くの人が訪れる名所となるよう神崎川畔企業連絡会等と連携して、「夕陽スポット」としてアピールする等、地域からの提案も含めた方策を検討していきます。



神崎川畔さくらまつり リバーサイド・カフェ (神崎川畔企業連絡会:神崎川)

現在、神崎川でのイベントとしては、吹田 まつりの前夜祭として、南吹田地域より上流 の神崎川会場で、吹田龍舟競漕大会などを実 施しています。

神崎川畔企業連絡会やJR吹田駅周辺にぎわいまちづくり活性化協議会、吹田商工会議所と連携して、南吹田地域の個性を高め、より神崎川に親しめるまちとする方策を今後も検討していきます。



吹田まつり ドラゴンボートレース大会(神崎川)



昔なつかし吹田渡 (吹田商工会議所:神崎川)

神崎川沿いのうるおいある空間形成 (産業労働にぎわい部・環境部・建設緑化部・下水道部)

地域にうるおいを与える水辺空間として、 住民に親しまれている神崎川を、より水辺に 親しめる空間とするために、アドプト・リバ ー・プログラムを活用している神崎川畔企業 連絡会等による川沿いのうるおいある空間形 成に向けた取り組みを支援し、市南部の神崎 川から北の拠点である万博公園に至る散策路 「花と緑、水めぐる歴史文化の南北ルート」 の整備の中で、自然に親しめる歩行者空間の 整備に努めます。

要権に劣めより。 また、うるおいある空間形成には、神崎川の水質保全も重要であり、地域が神崎川の水質浄化運動に取り組まれる際には、河川管理

者に地域の要望を伝えていきます。



フラワーギャラリー榎木 (神崎川畔企業連絡会:神崎川)



神崎川の遊歩道(中の島町)

さらに、下水道施設の維持管理を適正に行い、平成 23 年度(2011 年度)より南吹田下水処理場の一部で高度処理を実施するなど、市も公共用水域の水質保全を図ります。

地域の歴史と文化を留め伝える取り組み (市民文化部・産業労働にぎわい部・建設緑化部・下水道部・学校教育部)

南吹田地域は古くは、田畑が広がり農業用水路が廻らされていた農村地域でした。そのような地域の歴史風土や文化を、次世代に伝えるために、今後、南吹田地域の特性を生かした水路整備計画を検討するとともに、駅前交通広場の整備においては、交通結節点としての機能を保ちつつ限られたスペースを有



昭和 12 年 大井路と田舟のみえる水郷風景 (南吹田五丁目付近)

南吹田地域のまちづくり基本計画

効活用し、地域の意見を可能な限り反映しなが ら、地域の個性の表現や周辺環境の調和を図っ た、駅前交通広場の整備に努めます。

また、農村地域としての歴史や文化を踏まえ、 地域にある農地が保全され、市民が農業に積極 的にふれることができるよう、市民農園等の開 設を農家に呼びかけ、その整備、拡充を図りま す。



花とみどりふれあい農園事業 (南吹田二丁目)

そしてまた、市民が花と緑にふれあえる場を 提供する花とみどりふれあい農園事業や地域の 農作物特産品である「吹田くわい」の栽培奨励 事業、吹田産農作物を吹田で消費する地産地消 などを推進するとともに小学校における学童農 園の推進を図ります。



吹田くわいの栽培(江坂町三丁目)

地域文化の伝承の推進を目指し、歴史文化まちづくリセンター(浜屋敷)等、市民の文化活動の振興も図ります。



竹あかりコンサート (歴史文化まちづくりセンター)

まちの 方向性 5

ふれあい・憩う・笑顔のまち

南吹田地域では、お祭りや防犯活動など地域での活動が活発に行われています。今後 も、子どもから高齢者まで多世代が交流する、人の顔が見える温かなコミュニティがあ るまちを目指します。

また、鉄道や道路が整備されるなどまちが大きく変化していく中、より良いまちとするためには、今後も、地域主体のまちづくりが必要であり、まちづくり活動に参加する住民が増えるまちを目指します。

そのためには、新たな住民も含めた人と人とのつながりを強め、防犯・防災活動や、 地域福祉活動、環境保全活動、文化活動など、様々な市民活動が活発に行われ、地域の 力を強くすることを検討します。

地域コミュニティを育てる場・きっかけづくり (市民文化部・産業労働にぎわい部・環境部・建設緑化部)

南吹田地域を含む全市域において、地域コミュニティを育てる場やきっかけづくりに向けた、地域の取り組みを支援していきます。

特に、南吹田地域周辺においては、神崎川畔企業連絡会等に行政として参画し、地域コミュニティを育てる場やきっかけづくりに対し、支援できるように努めます。



豊津・江坂・南吹田地域においては、地域住民の様々な活動を促進・支援するコミュニティ施設の整備に努めます。

また、地域のまちづくり活動時の拠点として生活環境課監視係庁舎を利用することについては、当施設の管理上の課題を踏まえ、一定条件のもと利用できるよう努めていきます。

さらに、人の顔が見える温かなコミュニティづくりに向けて、南吹田地域を含む全 市域において、道路や公園などの、身近な空間において人と人が出会い、憩える場所 の創出に努めます。 防犯・防災、よりよいまちにするためのまちづくり活動 (政策推進部・市民文化部・環境部・建設緑化部・消防本部・地域教育部)

南吹田地域において、防犯・防災活動や、地域福祉活動、環境保全活動、文化活動など、様々な市民活動が活発に行われ、地域住民自身が地域の環境を維持し、課題点を改善する取り組みを進めることのできるまちを目指し、南吹田地域を含む全市域において、様々な地域活動を支援していきます。

例えば、防犯活動に関しては、地域の防犯活動団体の連携を強めるための拠点となる安心安全コミュニティスポットの設置助成やこども 110 番見守り活動支援での地域と協力した体制の確立などが挙げられ、防災活動に関しては、住民による自主防火組織の育成強化の推進や、初期防災活動体制の充実

を図ることなどが挙げられます。



「こども110番の家」 ステッカー



「ちいきでみまもる こども110ばん」看板

環境保全活動に関しては、おおさか東線の新駅設置にあわせ、迷惑駐輪への取り組みとして、放置禁止区域の範囲等について地域と協働しながら設定していくとともに、不法投棄の防止、違法屋外広告物の撤去等、地域の環境美化の推進に市民、事業者、行政が協働で取り組む活動を推進します。また、ごみの減量や資源化などを推進する人材育成や、地域による環境負荷の低減を目指した活動への支援を図ります。



フリーマーケット (くるくるプラザ)

また、これらの活動を推進する上で、地域での組織づくりやネットワークの強化、 誰もが地域について話し合うことのできる場づくりを支援していきます。 まちの 方向性 6

働く場もある活力あふれるまち

南吹田地域は、住宅地であるとともに、古くから様々な企業が操業しています。これらの企業は、地域イベントに参加するなど、地域の一員として溶け込んでいて、地域の活力ともなっています。

今後、住宅開発が進む中でも、地域住民と企業の共存関係が継続できる、住む場所と働く場所が調和して共存するまちを目指します。

そのためには、今後も、企業が地域で操業し続けることができるよう、住環境との調和に配慮した操業や地域住民と企業の交流促進など、地域住民と企業による取り組みを支援していきます。

地域と企業が共存したまちづくり

(政策推進部・産業労働にぎわい部・消防本部)

南吹田地域では、今後も地域と調和した企業の立地が継続する、地域住民と企業が共存したまちを目指します。南吹田地域の中小企業者に対する事業継続の支援を行うとともに、新産業の育成・本社機能の誘致を図ります。また、企業活動を支援するため産官学連携、事業者交流、情報提供の取り組み促進を図ります。



神崎川畔クリーンアップ作戦 (神崎川畔企業連絡会:神崎川)

また、企業が地域との調和を図る一環として、商工業団体による交流イベントの開催や、地域と企業の防災協力体制の推進を支援します。

住環境に配慮した企業活動への支援

(産業労働にぎわい部・環境部・建設緑化部)

住む場所と働く場所が調和して共存するまちに向けて、住環境に配慮した企業活動に対して、企業の敷際緑化の推進や、環境負荷の低減を目指したごみ減量、事業活動に伴う公害防止対策の推進、エコアクション 21 の認証取得などの取り組みを支援します。また、住環境に配慮した操業に向け、工業の高度化や環境に配慮した事業活動を支援し、都市型工業への展開を図ります。



企業用地の緑化(南吹田四丁目)

まちづくり方針の内容を、おおさか東線や駅前交通広場、都市計画道路西吹田駅前線等、箇所ごとに整理しました。 南吹田地域における都市基盤整備は、今後、下記の基本的な考え方に基づいて推進します。

	基本的な考え方	まちの方向性とまちづくり方策	担当部署	H21 2009	H23 2011	H28 2016	H30 2018 (年度)
おおさか東線新駅	おおさか東線の整備に関しては、大阪外環状鉄道株式会社の株主である立場から、補助・出資・貸付を行なうとともに早期完成を要望していきます。	方向性1-	都市整備室				
	南吹田地域に整備される新駅の整備にあたっては、大阪外環状鉄道株式会社と連携しバリアフリーを含む ユニバーサルデザインを推進します。	方向性 1 -	道路安全室交通政策課				
	おおさか東線の整備に関しては、鉄道の整備により人の行き来やコミュニティのつながりが分断されないよう、平成 14 年(2002 年)より高架構造へ変更するよう協議を進めてきました。このたび、事業主体である大阪外環状鉄道株式会社が計画を見直され、盛土構造から高架構造に変更し事業を推進されます。	方向性 1 -	都市整備室				
	おおさか東線の整備に関しては、地域の現状を踏まえ、高架下で必要な交通動線の確保を引き続き大阪外 環状鉄道株式会社と協議していきます。	方向性1-	道路安全室道路整備課				
	おおさか東線の新駅の開設にあわせ、駅周辺での自転車駐車場の整備に関しては、事業主体や整備計画も 含め、大阪外環状鉄道株式会社等関係機関と協議をすすめていきます。	方向性 1 -	道路安全室交通政策課				
	おおさか東線の新駅の名称については、地域にふさわしい「南吹田駅」となるよう西日本旅客鉄道株式会 社へ引き続き要望していきます。	方向性4-	都市整備室				
	おおさか東線の新駅・新線が、地域の玄関口としてふさわしいものとなり、まちの景観などに配慮した設計となるように協議をすすめ、まちの顔となる景観や活気と賑わいのある景観となるよう大阪外環状鉄道株式会社と協議していきます。	方向性4-	都市整備室				
	おおさか東線の新駅の開設にあわせ、迷惑駐輪への取り組みとして、放置禁止区域の範囲等について地域 と協働しながら設定していきます。	方向性 5 -	道路安全室交通政策課				
	駅前交通広場の整備に際しては、鉄道を利用する人がバスやタクシーなどに乗り換えしやすい、安心、安全でバリアフリー化に対応した交通動線計画を策定していきます。	方向性1-	道路安全室道路整備課				
駅	駅前交通広場において、耐震性防火水槽を整備していきます。	方向性 2 -	警防指令室警備課				
駅前交通広場	駅前交通広場の整備に際しては、交通結節点としての機能を保ちつつ限られたスペースを有効活用し、地域の意見を可能な限り反映しながら、花や緑に配慮した施設の配置計画を検討します。 また、地域の意見を可能な限り反映しながら、地域の個性の表現や周辺環境の調和を図った、駅前交通広場の整備に努めます。	方向性 3 - 方向性 4 - 方向性 4 -	道路安全室道路整備課				
	駅前交通広場の交通結節点としての機能を高めるため路線バスの導入を図っていくことを考えています。 バス事業者において、おおさか東線の新駅の開設、都市計画道路西吹田駅前線の完成にあわせて路線バス の運行計画が進められます。	方向性 1 -	道路安全室道路整備課				

^{*}おおさか東線の新駅は平成23年度末(2011年度末)完成予定

	基本的な考え方	まちの方向性と まちづくり方策	担当部署	H21 H 2009 20	23 H28 11 2016	H30 2018 (年度)
西都吹市	都市計画道路西吹田駅前線の平成 28 年度(2016 年度)の完成を目標に整備していきます。	方向性1-	道路安全室道路整備課			
吹田駅前線路		方向性 1 -	道路安全室道路整備課			
	都市計画道路西吹田駅前線の整備に際しては、周辺の景観に配慮した街路樹の整備に努めます。また、誰 もがわかりやすく、円滑に移動できるような案内標識の設置を検討します。	方向性 3 -	道路安全室道路整備課			
都市計画道路十三高槻線	都市計画道路十三高槻線(寿町工区)の整備に関しては、事業主体の大阪府に対し、整備の推進を要望していきます。	方向性1-	道路安全室道路整備課			
	都市計画道路十三高槻線の新大吹橋北詰~市道南清和園町 8 号線の区間は、平成 18 年(2006 年)2 月 10 日に締結した吹田貨物ターミナル駅(仮称)建設事業の確認書に基づき、独立行政法人鉄道建設・運 輸施設整備支援機構が、歩道の拡幅とともに植樹帯の整備を行うよう協議・調整します。	/J 11 土 -	東部拠点整備室			
	吹田貨物ターミナル駅(仮称)整備に伴う貨物専用道路の出入口となる市道南吹田 36 号線と都市計画道 路十三高槻線との交差点に信号を設置する方向で関係機関と協議・調整します。	方向性 1 -	東部拠点整備室			
上新田公園	都市計画道路西吹田駅前線の整備の関連工事として上新田公園の再整備を図ります。公園再整備に当たっては、防災機能を高めた施設整備の促進と、子どもから高齢者まで、広く地域住民との協働による公園再 整備計画を策定し、再整備していきます。	方向性 2 - 方向性 2 - 方向性 3 - 方向性 5 -	緑化公園室 緑と水のふれあい課 道路安全室道路整備課			
神崎川	下水道施設の維持管理を適正に行い、平成 23 年度(2011 年度)より南吹田下水処理場の一部で高度処理 を実施し、公共用水域の水質保全を図ります。	方向性4-	水再生室 南吹田下水処理場			

^{*}おおさか東線の新駅は平成 23 年度末 (2011 年度末) 完成予定